

南陽の丘

*「南陽の丘」は校歌より命名しています

8月 August

はづき
景月

平成30年 8月 9日

長与町立長与南小学校

発行 校長 岸川和幸

残暑お見舞い申し上げます



今年は、梅雨が明けた7月中旬から全国的に猛暑・酷暑の日々が続いておりますが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。

学校内に植えてある多くの花や木々もこの暑さで、さすがにぐったりとした様子です。8月中～下旬に向けて暑さも一段落してくれたらと、空を見上げる毎日です。

さて、本日は久しぶりに明るい声が校内に響き渡り、猛暑の中でも子供たちは元気に過ごしていることを感じさせてくれました。夏休みも半分が終わりました。しかし、子供たちにとっては、楽しい日々がまだまだ続きます。

健康と安全に留意して思い出深い有意義な夏休みとなるよう、御家庭・地域の皆様のお声かけをよろしくお願いします。

◆自分の暮らしの中で平和について考えよう ～73年前の今日～◆

本日は、太平洋戦争中、長崎に原子爆弾が投下された日であることから、平和を祈るための平和集会を実施しました。

73年前の今日、昭和20（1945）年8月9日 午前11時2分、好天の空に一発の原子爆弾が炸裂しました。その熱線と爆風で長崎の街は焼き尽くされ、かけがえのない約7万人もの尊い人命が失われました。また、多くの方々が放射能等の影響で戦後も大変な御苦労をされました。

本校では6月の教育週間の際、原爆を体験された方々の講話から戦争や原爆の実態を学ぶ機会を設けました。また、本日は平和集会において、3年生・5年生の発表を中心として平和の大切さや尊さなど、子供たちは多くのことを学びました。

これからは子供たち一人一人が今日心に刻んだことを、普段の暮らしの中で実際に生かしていくことが大切であると考えています。御家庭でも折にふれてお子様と平和について話をいただければと思います。家族の中でできること・身近な人と優しく関わることから始めていけるよう、語りかけてください。よろしくお願いします。



※長与町内には、各所に原爆投下直後に被災された方々の救護所となった場所があります。また、長与駅前には救援列車と同型の蒸気機関車の動輪が、平和を願うモニュメントとして設置されています。子供たちに、原爆が長与町にも関係していたことを学ばせ、歴史を語る場所にも意識を向けさせたいですね。

◆災害への備えをお忘れなく◆



災害大国と呼ばれる日本です。この夏も様々な災害の報道がありました。特に西日本豪雨と名付けられた7月の豪雨で被害を受けた広島・岡山・愛媛を中心とした地域の皆様の御安全・御健康を祈らずにはられません。

まだまだ、台風や豪雨、猛暑・酷暑への備えや心構えを忘れることはできません。残すところ半分となった夏休みを有意義に過ごしてくれることを願っています。